


人と防災未来センター 観覧のご案内

「学校の修学旅行・校外学習」「企業や団体の研修」に最適



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念

 人と防災未来センター

人と防災未来センター(西館・東館)で できること

1995年1月17日午前5時46分、兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、6434名の人命が失われるなど、甚大な被害をもたらしました。

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える(西館)とともに、自然災害に備える力を養う(東館)展示を行っています。

西 館	東 館
1 地震の恐ろしさを知る	1 オリジナル防災教育映像をみる
2 震災の様々な教訓を学ぶ	2 最新の防災知識を楽しみながら学ぶ
3 被災者の生の声を聞く	・ 様々な自然災害のメカニズム
4 家族や地域の人たちの絆の大切さを学ぶ	・ 災害の疑似体験
5 防災・減災について学ぶ	・ 災害時の行動のトレーニング

人と防災未来センターで学べるSDGs



SDGs	内 容
No.1・13  	激甚化・頻発化する風水害等へ対応するため、早期避難の徹底など避難対策を学ぶことができる。
No.5 	女性、高齢者、障がい者、外国人などに災害時に起こりうる問題を考え、誰もが災害時に安心して過ごせる手段を学ぶことができる。
No.11 	水関連災害などの災害による被害を減らすべく、災害のメカニズムや避難行動を学ぶことができる。
No.17 	自主防災組織や消防団等の阪神・淡路大震災での体験を学ぶことから防災・減災の為に地域防災力の向上が必要なことを学ぶことができる。また、防災・減災に関する行政事務者、研究者、企業など多様なネットワークを形成し、社会の防災力向上のために取り組んでいることを学ぶことができる。

※SDGsに該当する展示は、p.2~3「展示フロアガイド」でご確認ください。

来館団体の皆様へ

円滑な予約・観覧を行っていただくためご協力をお願いいたします。

学校団体

児童・生徒の皆様の“学びの時間”を守るために先生方の力が必要です。安全で快適な学びのために、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ①安全管理 他の学校を含め、大人の団体やご家族連れ、インバウンド等、様々な来館者もいる中での観覧となります。児童・生徒の皆様の誘導や見守り等をお願いいたします。
- ②学習のサポート 事前準備や指示により、人と防災未来センターでの体験が何倍にも広がります。学校での事前・事後学習や先生方による下見来館もご検討ください。

よくあるご質問

- 館内に昼食場所がありますか？ → 昼食場所はありませんので、予め各学校でご検討のうえご来館ください。なお、館内レストラン予約を希望される場合は、レストランへ直接ご相談ください (<https://www.dri.ne.jp/guide/shop/>)。
- 観覧中にお茶やお水を飲んでもいいですか？ → 館内は原則飲食禁止ですが、熱中症対策等必要に応じて水分補給をしていただいても結構です。ただし、①展示物にこぼさない ②他の来館者の観覧の妨げになる位置で飲まない ようご協力をお願いいたします。

一般団体

- 酒気帯びや大声で騒ぐ等の迷惑行為を行った方はご退館いただく場合があります。団体内でご配慮・ご注意いただきますようご協力をお願いいたします。
- 70歳以上高齢者及び障がい者の方は証明書提示で入館料割引があります。団体の場合は、名簿(高齢者:氏名・生年月日・年齢記載、障がい者:氏名・障害者手帳番号記載)の提出により、証明書提示と同様の割引対応を行います。名簿のご提出がない場合は、大人料金(障がい者は大人・大学生の各料金適用)となりますので、事前にご提出ください。なお、お預かりした情報は個人情報保護のため、ご来館後に裁断した上で破棄します。

国・地方自治体による視察団体

- Web観覧予約フォームの最後の「備考欄」に、視察を希望することを記載ください。
- 日時・内容によっては、定員超過等の事由により、お受けできない場合があります。
- 視察に対する入館料の減免措置は、原則、ございません。
- 後日、調整過程において、人と防災未来センター長宛依頼文書及び視察者名簿をご提出いただきます。
- 情報公開請求があった場合には、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構情報公開規程に基づき取扱います(詳しくは視察担当者へご確認ください)。

展示フロアガイド

西館展示ゾーン

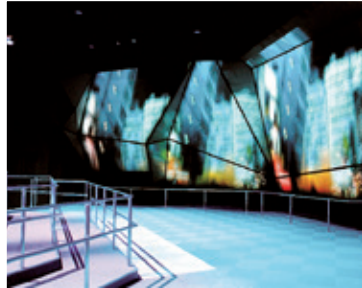
4F 震災追体験フロア

1 1.17シアター

[上映時間7分]

阪神・淡路大震災の地震破壊のすさまじさを大型映像と音響で体感します。

毎時00・20・40分上映



2 震災直後のまち

震災直後のまち並みをジオラマ模型でリアルに再現しています。

3 大震災ホール [上映時間15分]

復興に至るまでのまちと人を、直面する課題とともにドラマで紹介します。

3F 震災の記憶フロア

4 震災の記憶を残すコーナー

震災関係資料を提供者の体験談と共に展示しています。

5 震災からの復興をたどるコーナー

地震直後や復興過程の生活・まちの姿をメッセージとグラフィックで解説します。

6 震災を語り継ぐコーナー

ビデオで震災体験を紹介したり、「語り部」が自らの体験を語ります。



2F 防災・減災体験フロア

7 災害情報ステーション

世界で今起こっている自然災害を学習します。

8 防災・減災ワークショップ

実験やゲームを通して、防災・減災に関する実践的な知識を学習します。非常持ち出し品等減災グッズの実例展示やチェックリストの配布を行っています。



9 防災未来ギャラリー

防災・減災に関するさまざまな企画展を開催します。

1F



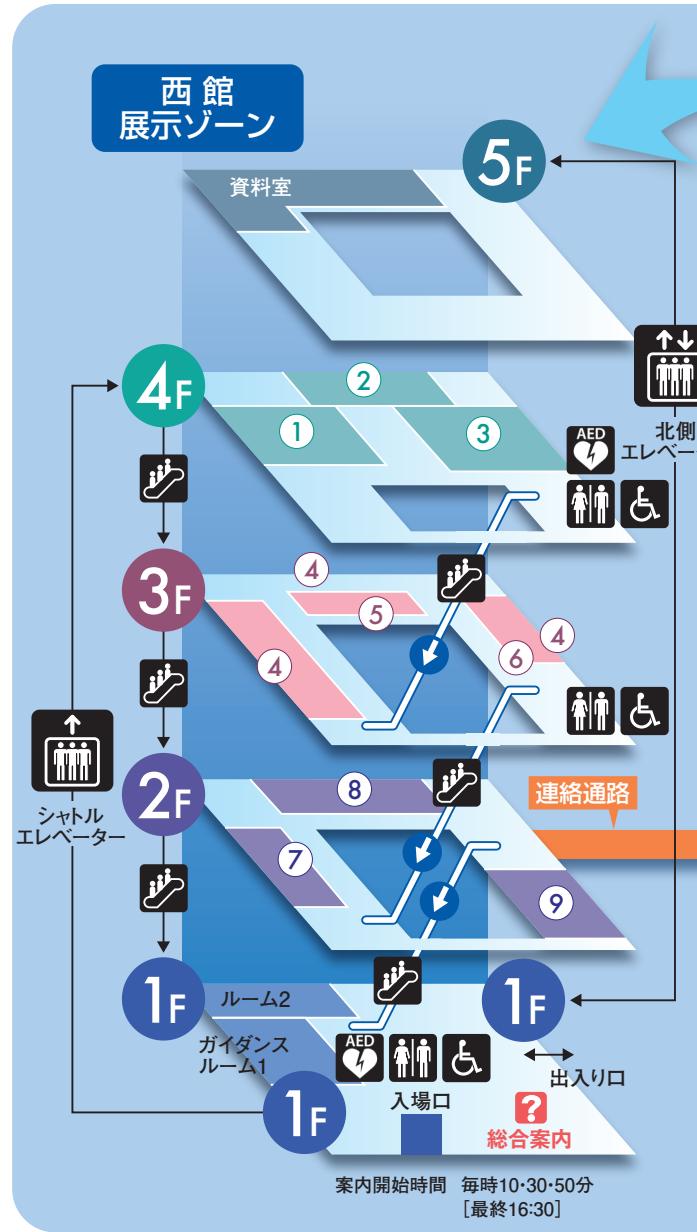
ガイダンスルーム

[震災・防災学習プログラム] 予約制

プログラム 1 「語り部」による震災の体験談や心がけるべきこと等

プログラム 2 センター研究員による防災セミナー

※小中学生対象 平日のみ



5F 資料室 [資料閲覧・防災学習] 無料ゾーン

資料室では阪神・淡路大震災や防災に関する資料の収集・保存・公開を行っています。

■ 開室時間 9:30~17:30

■ 閉室日 休館日及び12月29日から1月3日

資料の閲覧

● 二次資料 (図書やビデオなど)
資料室内に開架されており、自由にご覧頂けます。

● 一次資料 (震災の実物資料)
資料室内の資料検索用コンピュータやインターネットで検索することができます。閲覧を希望される場合は、事前にご連絡ください。
検索ページ <https://lib.dri.ne.jp/search/>

資料の貸出

資料の貸出は原則行っていません。ただし、ビデオや写真については、利用目的によって貸出できるものがあります。資料室へご相談ください。

レファレンス

震災や防災に関する資料について、ご相談に応じています。



※災害について学ぶことができる「災害学習ノート(小学生対象)」「くらしと震災学習ノート(中学生以上対象)」の配布を行っています(HPからのダウンロードもできます)

基本観覧順路

ご到着されましたら「西館」1階総合案内②にて受付をお済ませください。

<西館>

「西館」1階からシャトルエレベーターで4階へ

*案内開始時間は毎時10・30・50分です。
一度にご入場いただける定員は120名です。

「西館」は4階(①②③)→3階(④⑤⑥)→2階(⑦⑧⑨)の順路でご観覧

「西館」→「東館」へ2階連絡通路から移動

<東館>

「東館」は1階(⑩)→3階(⑪～⑯)をご観覧

※ご出発の際は「東館」1階出口をご利用ください。

※「西館」5階資料室をご覧になる場合は「西館」北側エレベーターを1階からご利用ください。

※「東館」1階(⑩)、3階(⑪～⑯)の観覧にも事前予約が必要です。



東館展示ゾーン

3F BOSAIサイエンスフィールド



11 ディザスターウォール
地球上で起こる自然現象と人々の生活が変わることによって自然災害が発生することを学びます。



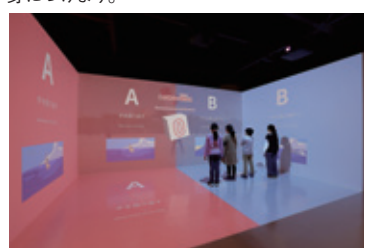
14 ミッションルーム
リアルに再現された住居やコンビニで、自ら状況を判断して避難行動につなげるためのトレーニングを行います。



12 ジオ&スカイホール
自然現象のメカニズムを学び、それが自然災害とどのように結びつくのかを体験します。



15 クエスチョンキューブ
災害時の様々な場面を体験できる映像空間でクイズに答え、命を守る最善の行動力を身につけます。



13 ハザードVRポート
地震や津波、風水害の現場を360°広がるVR映像と音声で体験します。



16 ディスカバリーラウンジ
防災・減災に関する最新の知識を学び、今後の取り組みや決意をメッセージとして残しましょう。

2F 多目的スペース
兵庫県が、106の教訓をまとめた刊行物「伝える 1.17は忘れないー阪神・淡路大震災20年の教訓ー」をパネル化して掲示。

1F 10 このころのシアター
[上映時間約15分]
毎時00・20・40分上映

災害列島と言われる日本で暮らす私たちが実際に災害に遭遇したとき、自らの命を守ることができるのか、そのためにはどうすべきかを問いかける映像作品「にげようー大切な命を守るためにー」を上映します。



⑬⑭は実施時間が決まっています

HPで確認できること

開館(休館)日:開館カレンダー (https://www.dri.ne.jp/guide/info/)		レストラン予約:LOHAS café KOBE (https://www.dri.ne.jp/guide/shop/)	
館内展示:VRツアー付き観覧フロア案内 (https://www.dri.ne.jp/exhibition/vr/)		防災グッズ・神戸土産・防災絵本等の購入: ミュージアムショップ (https://www.dri.ne.jp/guide/shop/)	
事前・事後学習での震災資料(写真)利用、 映像資料貸出、防災学習ノート提供:資料室 (https://www.dri.ne.jp/library/)		観覧・予約等でのよくある質問 (https://www.dri.ne.jp/guide/faq/)	

※レストラン・ミュージアムショップは臨時休業する場合があります。また、各運営会社に変更になる場合があります。最新情報はHPをご確認ください。

団体予約について

■定員

120名 なお120名様以上でご来館の場合は、「観覧予約WEB申し込み」の「班分け表」もご利用ください。

■観覧所要時間

- 1) 60分コース ①西館のみ(東館はご見学いただけません)
②東館のみ(東館1階「こころのシアター」+東館3階)
- 2) 90分コース ①西館のみ(東館はご見学いただけません)
②西館+東館1階「こころのシアター」(東館3階はご見学いただけません)
③西館+語り部講話もしくは研究員セミナー(東館はご見学いただけません)
- 3) 120分コース ①西館+東館(東館1階「こころのシアター」+東館3階)
②西館+語り部講話もしくは研究員セミナー+東館1階「こころのシアター」(東館3階はご見学いただけません)
③西館+語り部講話もしくは研究員セミナー+東館3階(東館1階「こころのシアター」はご見学いただけません)

■オプションプログラム

●オプションプログラム(予約制・対象=20名様以上/所要時間30分)

- 1) 震災学習プログラム(講話):語り部ボランティアによる震災時の体験談
- 2) 防災学習プログラム(セミナー):当センターの専任研究員による防災セミナー(小・中学生対象・平日のみ)
会場「西館」1階 ガイダンスルーム1(定員120名)・ガイダンスルーム2(定員60名)

※各プログラムは2週間前までにご予約をお願いいたします。

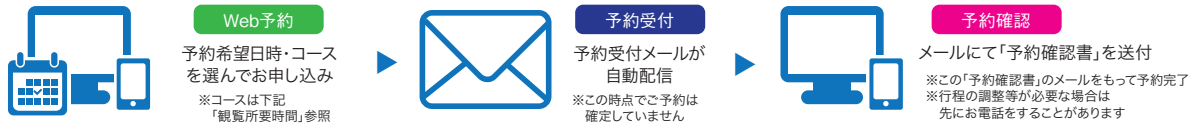
■入館無料対象

学校行事で引率の学校教員、団体同行の旅行会社添乗員・観光バス運転手・バスガイド・通訳(有資格者に限る)及び下見(1団体につき3名まで/年間)についてはいつでも無料でご観覧いただけます。また、毎月17日(休館日の場合は翌18日)は入館無料日です(1月のみご予約不可)。

観覧申し込みについて

■観覧申込方法

- 人と防災未来センターホームページ(ホームページ:<https://www.dri.ne.jp>)の「観覧予約について」内の「観覧予約Web申し込み」からお申し込みください(予約は来館5日前まで/先着順)。



※ドメイン【@dri.ne.jp】を受信できるように設定をお願いいたします。

※観覧申込は「WEB予約のみ」で受け付けます。

ネット環境がないなどWEB予約ができない方は、事前にお電話(Tel.078-262-5050)でご相談ください。

- 以下の方は事前予約が必要です(個人、少人数グループの場合は不要)。

①20名以上の団体

②20名未満でも下記に該当する場合は予約が必要

・学校団体・添乗員同行団体・バス待機所利用希望団体・支払方法が旅行社クーポンの方等

■下 見

下見でご来館になる場合は「観覧予約WEB申し込み」からお申し込みください。

1団体につき3名様まで無料でご観覧いただけます。

■予約受付開始日

予約受付開始は来館希望日の6か月前の1日(【1日が土・日・祝日の場合は翌平日】【1月は正月三が日明けの翌平日】【5月はGW明けの翌平日】)10時からですが、これが当センター休館日にあたる場合はその翌平日※1となります。

※1 令和8年12月予約分から変更

来館年月	予約受付開始日時	来館年月	予約受付開始日時
令和8年 4月	受付中	令和9年 4月	令和8年 10月1日(木) 10:00
令和8年 5月		令和9年 5月	令和8年 11月4日(水) 10:00
令和8年 6月		令和9年 6月	令和8年 12月1日(火) 10:00
令和8年 7月		令和9年 7月	令和9年 1月5日(火) 10:00
令和8年 8月		令和9年 8月	令和9年 2月2日(火) 10:00
令和8年 9月		令和9年 9月	令和9年 3月2日(火) 10:00
令和8年 10月	令和8年 4月1日(水) 10:00	令和9年 10月	令和9年 4月1日(木) 10:00
令和8年 11月	令和8年 5月7日(木) 10:00	令和9年 11月	令和9年 5月7日(金) 10:00
令和8年 12月	令和8年 6月2日(火) 10:00	令和9年 12月	令和9年 6月1日(火) 10:00
令和9年 1月	令和8年 7月1日(水) 10:00	令和10年 1月	令和9年 7月1日(木) 10:00
令和9年 2月	令和8年 8月4日(火) 10:00	令和10年 2月	令和9年 8月3日(火) 10:00
令和9年 3月	令和8年 9月1日(火) 10:00	令和10年 3月	令和9年 9月1日(水) 10:00

※令和8年3月現在の予定です。運営方針の変更により、予約受付開始日時が変更になる場合があります。最新情報は必ずHPでご確認ください。

※令和8年11月予約開始日の令和8年5月7日(木)は休館日のため電話は繋がりません。

基本情報

開館時間

9:30～17:30(入館は16:30まで)
※変更する場合があります。HPでご確認ください。

休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は翌平日)
年末年始
※ゴールデンウィーク(4月28日～5月5日)期間中は無休
※上記以外でも臨時休館する場合があります。HPでご確認ください。

施設設備ガイド

- 車椅子・ベビーカー貸出(無料)
ご来館当日、総合案内にてお申し出ください。
ご予約制ではありません。
※台数に限りがあるため貸し出しできない場合があります。予めご了承ください。
- 身体障がい者用トイレ
「西館」1・3・4階「東館」1・3階に男女各1つ設置しています。
「東館」2階には多機能トイレがあります。
- 救護ベット
「西館」1階に1台、4階に2台あります。使用される場合は
スタッフにお申し出ください。
- 授乳室
「西館」1階に1ヶ所あります。
- AED(自動体外式除細動器)
「西館」1階、4階、「東館」1階、3階に設置しています。

多言語ガイドサービス(予約制・無料)

- 映像翻訳機
西館「大震災ホール」・東館「こころのシアター」では
映像翻訳機(英・中・韓・越)の貸し出しのサービスを行っています。
※台数に限りがあるため貸し出しできない場合もあります。予めご了承ください。
- 語学ボランティアによるガイド
センター登録語学ボランティア(英・中・韓)による
展示解説を行なっています。
※状況によって対応できない場合があります。予めご了承ください。

入館料金

<共通>

大人	大学生	高校生以下
650円(500円)	450円(350円)	無料

<東館のみ>

大人	大学生	高校生以下
300円(250円)	200円(150円)	無料

※()内は20名以上の団体料金。
※障がい者、70歳以上の高齢者は証明書提示で割引有。
※学校行事の引率の教員は無料ですが、同行のカメラマン・保護者は有料です。

バス待機所(予約制/先着順)

観覧予約時に待機所利用のご予約をお願いします。
※料金:1,800円/台 バス待機所内の精算機支払い(現金のみ)

有料駐車場

	1時間まで	2時間まで	3時間まで	
観覧者	250円	400円	550円	以降30分ごとに200円
観覧者以外	400円	以降30分ごとに200円		

※駐車券を総合案内にご提示ください。
※レストラン・ミュージアムショップおよび無料ゾーンのみご利用の場合、駐車場
割引はありません。

レストラン&ミュージアムショップ

東館1階にはレストランとミュージアムショップがあります。
営業日・時間等についてはHPをご確認ください。

観覧に当たってのご注意とお願い

- 著作権等により、西館4階「震災追体験フロア全面」、東館1階
「こころのシアター」の撮影および展示フロア内全ての映像の録画・
録音は禁止です。
- 当センターからの生中継・生配信は禁止です。
- 館内は禁煙です。
- 携帯電話での通話や、レストラン以外でのご飲食はご遠慮ください。
- 酒気帯びなど他のお客様に迷惑がかかる行為をされる方には、
退館していただく場合があります。

